

現代日本語の依頼表現における許可求め型の広がり

Increase in Asking for Permission in Japanese Request Expressions

野 呂 健 一

Kenichi Noro

(要約)

日本語の依頼表現の使用についてアンケート調査を行ったところ、「～てもらおう型」表現への偏り、特に「～てもらってもいいですか」という「許可を求め型依頼表現」が優勢であること、そのような「許可求め型依頼表現」を使用する際、相手に対する敬意の度合いがそれほど高くないと感じていることが分かった。また、「許可求め型依頼表現」は解釈が曖昧になる可能性があるため、それを避けるためには他の依頼表現を選択するように指導する必要があることを示した。

(キーワード)

依頼表現、許可求め型、敬意の度合い

1. はじめに

平成19年2月2日文化審議会答申「敬語の指針」の中で、「それ、取ってもらってもいい（ですか）」「こちらの書類に書いていただいてもよろしいですか」のように、「許可を求める形」で依頼を行う表現について、近年よく耳にするようになったと指摘されている。「敬語の指針」では、「取ってください」のような相手に直接働き掛ける表現に対して、「取ってもらってもいい（ですか）」という表現は、（自分が）取ってもらえるかどうかを尋ねる形にすることで、相手に対して押し付けるような印象をなくし、相手への配慮を表そうとするのではないかと考えられ、相手に許可を求める表現に変えることで、より丁寧な言い方にしようとしたのだと考えられると述べられている。

一方、インターネット上では、次のように、この表現に対して違和感を覚えるという意見が多くみられる。

気になる言葉「～してもらってもいいですか？」

このごろ、よく耳にする言い回しに、「～してもらって（も）いいですか？」という表現がありません。

先日、初めて都バスに乗る機会がありました。（中略）途中で車椅子の方が乗ってこられました。運転手さんが手際よく、優先座席を車椅子用に座席を直したのですが、その際に、「席、空けてもらっていいですか!?!」「そちらもどいてもらっていいですか!?!」と言いながら、作業をしていました。また「～してもらっていいですか？」…少々うんざりした気分になりました。

(<http://tabelog.com/rvwr/00039524/diarydtl/8658/>)

このように、相手への配慮を表し、より丁寧な言い方にしようとしたものであるとされる一方、聞き手からは、否定的に捉えられることが多いのである。

本稿では、「～てもらってもいいですか」という表現を対象とし、この表現の使用が、他の依頼表現と比較して、どの程度広がっているのか、また、この表現を使用する際に、どのような意識で用いているのかを短期大学生へのアンケート調査を基に考察するものである。また、日本語表現指導における、この表現使用の留意点について検討する。

2. 先行研究

2.1 依頼表現の分類

日本語の依頼表現にさまざまなバリエーションが存在することは、岡本（1988）、山田（2004）などの先行研究によって示されている。

岡本（1988）は、慣習的な形式を具えた定型的な依頼表現として以下のように様々な表現があるとしている¹。

- ① 窓開けて
- ② 窓開けてくれよ
- ③ 窓開けてくれる？
- ④ 窓開けてくれないかなあ？
- ⑤ 窓開けてもらえない？
- ⑥ 窓開けてほしいんだけど
- ⑦ 窓を開けてください
- ⑧ 窓を開けてくれませんか？
- ⑨ 窓を開けてもらえませんか？
- ⑩ 窓を開けてくださいますか？
- ⑪ 窓を開けていただけないでしょうか？
- ⑫ 窓を開けていただきたいんですが

岡本（1988）は、これらを大別し、狭義の敬語の不使用（①～⑥）または使用（⑦～⑫）という区分、命令形で表すか（①②⑦）、肯定疑問形（③⑧⑩）、否定疑問形（④⑤⑨⑪）、希望を叙述する形（⑥⑫）等間接的な形式を用いるかという区別ができるほか、補助動詞（くれる、もらう、くださる等）の形式を考慮することによってもバリエーションが多様になると述べている。

山田（2004）は、「くれる」「もらう」などの授受表現に由来する依頼表現を、以下のように分類している。

A類（命令形およびその変形）依頼表現

テクレル+命令：テクレ、テオクレ、テクダサイ、(テクダサイマセ)、オ～クダサイ

テチョウダイ、テ形、オ+命令形²

B類（テクレル系）依頼表現

テクレル+疑問：テクレル？、テクレマス？、テクダサル？、テクダサイマス？等

テクレル+否定+疑問：テクレナイ？、テクレマセン？、テクダサラナイ？等

テクレル+否定+推量+疑問：テクレナイダロウカ、テクダサラナイデショウカ等

C類（テモラウ系）依頼表現

テモラウ+可能+疑問：テモラエル？、テモラエマス？、テイタダケル？、テイタダケマス？等

テモラウ+可能+否定+疑問：テモラエナイ？、テモラエマセン？、テイタダケナイ？等

テモラウ+可能+否定+推量+疑問：テモラエナイダロウカ、テイタダケナイデショウカ等

D類（許可の問い掛け系）依頼表現

テモラウ+可能+テ（モ）+評価+疑問：テモラッテ（モ）イイデスカ、テイタダイテ（モ）ヨロシイデスカ等

テモラウ+可能+テ（モ）+評価+推量+疑問：テモラッテ（モ）イイデショウカ、テイタダイテ（モ）ヨロシイデショウカ等

E類（条件+評価系）依頼表現

テモラウ+（可能）+条件+評価+逆接言切り：テモラエルトアリガタイ（ンダ）ケド等

テクレル+条件+評価+逆接言切り：テクレルトアリガタイ（ンダ）ケド等

F類（願望系）依頼表現

テモラウ+願望（+ノダ+逆接言切り）：テモライタイ、テホシイ、テモライタンダケド等

G類（意志系）依頼表現

テモラウ+意志+疑問：テモラオウカ、テモライマショウカ、テイタダキマショウカ等

山田（2004）で取り上げられている依頼表現のうち、D類（許可の問い掛け系）、E類（条件+評価系）、G類（意志系）の3類については、岡本（1988）では挙げられていない。この3類が、岡本（1988）で取り上げられていない理由については、二つの可能性が考えられる。

一つは、典型的に依頼を表す表現ではなく、依頼表現の中で周辺的な存在として見られている可能性である。山田（2004）は、E類の表現について、『『そのような状況になると後件のような感情を話者が抱く』』ということ述べているだけである（同書：253）としているほか、G類については、「話者の意志の表示を終助詞「か」を以て疑っているだけ」であり、「内容的には命令に近」と述べている（同書：253）。こうした記述から、これらの表現は、典型的な依頼表現でないと言える。

もう一つは、近年広く用いられるようになった可能性である。2007年2月文化審議会答申「敬語の指針」が、「依頼や指示を『許可を求める形』で行う表現は近年よく耳にするようになった」としており、岡本（1988）が調査を行った時代には、D類（許可の問い掛け系）はそれほど広まっていなかった可能性がある。

2.2 依頼表現の使用実態

金（2000）は、日本語母語話者が家族または家族以外に対して依頼をする際の、「～てくれる／くださる」と「～てもらう／いただく」の使用実態を明らかにするためにアンケートを行った。聞き手が家族の場合、及び、家族以外で目下か同等の場合、「くれる型」が最も多く使われているのに対し、聞き手が家族以外で目上の場合、「いただく型」が最も多く、次いで「もらう型」「くれる型」「くださる型」

の順であることを示した。

高村(2013)は、日本語の依頼における文末表現について、依頼者の性別と依頼内容の負担度の大小によってどのような相違点が見られるのか調査するためにアンケートを行。その結果、負担度が大きいほど、「もらう型」>「くれる型」、「否定型」>「肯定型」となり、より相手のことを考えた表現を使用していることを示した³。また、依頼内容の負担度に関わらず、男性が女性よりも「くれる型」>「もらう型」、「否定型」>「肯定型」を用いると述べている。

3. 依頼表現使用の実態調査

許可求め形式がどの程度使用されているのかについて、先行研究では明らかとされていないため、アンケート調査を行い考察を試みる。

3.1 調査方法

高田短期大学キャリア育成学科1年後期の必修科目「文書技法」受講学生に対して、依頼表現使用についてのアンケート調査を実施したところ、44名の回答があった。以下のように依頼相手と依頼内容を設定し、どのように依頼を表現するか、普段の会話をイメージして、自分が話す言葉のとおりを書くように求めた。

依頼相手：アルバイト先の店長

依頼内容：使用している機械の調子が悪くなったので、その機械に詳しい店長に点検を求める。

3.2 調査結果

学生が記述した回答について、補助動詞の使用及び文末形式に着目し、「点検してもらえますか」「見てもらえますか」のように動詞の違いは考慮せず、どちらも「～てもらえますか」に含め、回答数を集計した。表1では、授受補助動詞の有無及び種類によって「もらう型」「いただく型」「その他」の3つに分けるとともに、文末形式の種類によって、それぞれを「肯定疑問」「否定疑問」「許可求め」「希望叙述」などの項目に分類した。表2では、文末形式の種類の違いによる比較を試みた。

表 1 依頼表現使用実態の調査結果

表現		分類	回答数
もらう型	～てもらえますか	肯定疑問	9
	～てもらえませんか／～もらえないですか	否定疑問	8
	～てもらってもいいですか	許可求め	14
	～てもらいたいです／～てもらいたいのですが	希望叙述	2
	計		33
いただく型	～ていただけませんか／～ていただけないですか	否定疑問	2
	～ていただいてもよろしいですか	許可求め	2
	～ていただきたいのですが	希望叙述	1
	計		5
その他	～てほしいのですが	希望叙述	1
	お願いします	直接依頼	3
	どうしたらいいですか／どうすればいいですか	指示待ち	2
	計		6

表 2 依頼表現使用実態の調査結果（分類別）

分類	表現	回答数
許可求め	～てもらってもいいですか	14
許可求め	～ていただいてもよろしいですか	2
	計	16
否定疑問	～てもらえませんか／～もらえないですか	8
否定疑問	～ていただけませんか／～ていただけないですか	2
	計	10
肯定疑問	～てもらえますか	9
	計	9
希望叙述	～てもらいたいです／～てもらいたいのですが	2
希望叙述	～ていただきたいのですが	1
希望叙述	～てほしいのですが	1
	計	4
直接依頼	お願いします	3
指示待ち	どうしたらいいですか／どうすればいいですか	2

3.3 考察

金（2000）は、聞き手が目上の場合、「いただく型」「もらう型」「くれる型」「くださる型」の順であることを示しているが、表 1 の調査結果から、「もらう型」の優位性が示されることとなった。聞き手はアルバイト先の店長、すなわち目上の人物であるが、「いただく型」の回答数が合計 5 人であるのに対し、「もらう型」の回答数は 33 人と、6 倍以上の差が見られる。また、金（2000）においては、聞き手が目上の場合にも「くれる型」「くださる型」の回答が見られたが、本調査においては「くれる型」「くださる型」の回答はなかった。また、高村（2013）は、依頼内容の負担度が大きいほど、「くれる型」よりも「もらう型」が、「肯定型」よりも「否定型」が選択されることを示している。本調査においては、前述したように「くれる型」（「くださる型」を含む）の回答はなかった。また、表 2 の調査結果

のとおり、「肯定型」と「否定型」に差は見られなかった。

表2において際立っていたのは、「～てもらってもいいですか」「～ていただいてもよろしいですか」と、相手に許可を求める形式で依頼を表す表現である。特に、「～てもらってもいいですか」は、記述された表現の中で最も多く、44人中14名(32%)の学生が、ふだん用いる表現として選択している。

4. 許可求め形式の使用に関する意識調査

短期大学生を対象とした調査結果から、「許可求め型依頼表現」が広がりを見せていることが分かった。そこで、「許可求め型依頼表現」を使用する際に、他の「もらう型」依頼表現と相対的に、相手に対する敬意の度合いをどのように感じているのかに関して意識調査を行った。

4.1 調査方法

高田短期大学キャリア育成学科1年後期の必修科目「文書技法」受講学生に対して、3節の実態調査とは別に、36名の学生に対してアンケート調査を実施した。以下のような場面設定と会話例を提示し、下線部分に入る表現(すべて「もらう型」依頼表現)のうち、相手に対する敬意の度合いが最も高いものと最も低いものはどれだと感じるかを選択させた。

(アルバイト中に、使用している機械の調子が悪くなって困っていたところ、その機械に詳しい店長が来る。)

あなた：いま使っていたら、急におかしくなっちゃったんです。

ちょっと点検して_____。

店 長：ああ、いいよ。

<選択肢>

- ① もらえますか
- ② もらえませんか
- ③ もらえないでしょうか
- ④ もらいたいのですが
- ⑤ もらってもいいですか

4.2 調査結果

5つの「もらう型」依頼表現のうち、敬意の度合いが最も高いと感じるもの、及び、敬意の度合いが最も低いと感じるもの、それぞれの回答者数を表3に示す。各依頼表現の右欄の数字がそれぞれを選択した回答者数であり、多いものから降順に並べてある。

表3 「もらう型」依頼表現における敬意の度合いの違い

敬意の度合いが最も高いと感じるもの		敬意の度合いが最も低いと感じるもの	
～てもらえないでしょうか	35	～てもらってもいいですか	18
～もらいたいのですが	1	～てもらえますか	15
		～もらいたいのですが	2
		～もらえますか	1

4.3 考察

半数の学生が、許可求め型依頼表現を敬意の度合いが最も低い表現であると感じている一方で、敬意の度合いが最も高いと感じる学生は一人もいなかった。3節で行った調査では、許可求め型依頼表現を記述した学生が最も多かったのと対照的である。アルバイト先の店長という目上の人物に依頼する際に、それほど敬意が高くないと感じている表現を選択しているということである。

蒲谷（2007）は、許可求め型依頼表現について、曖昧で回りくどい表現だと言われるが、「丁寧さ」原理に即した表現だと述べている一方で、「許可求め型表現」を用いている個々の「表現主体」としては、何だか回りくどいけれども、何となく丁寧だ、という程度の意識で用いている（同書：43）こともあると述べている。

こうした指摘も合わせて考察してみると、依頼相手に対して高い敬意を感じているわけではないが、かなり回りくどい表現であるため相手に押し付けるような印象が少ないことが、許可求め型依頼表現を用いる理由であると考えられる。短期大学生にとって、アルバイト先の店長は目上の人物ではあるが、お客のような「外」の人物ではなく、「内」の人物であるため、それほど高い敬意の表現を用いていないが、押し付けるような言い方をして自分の印象を悪くしたくないという意識が働いているのかもしれない。

5. 許可求め型依頼表現使用の際の留意点

短期大学生への調査から、許可求め型依頼表現が広がりを見せていることが確認されたが、この表現を使用する際には留意すべき点がある。

山田（2004）は、以下の例のように動作主が三人称の場合、依頼ではなく許可を求める用法となると述べている。すなわち、許可を与えるのは聞き手であるが、「連れて行く」という行為を実際に遂行できる立場にあるのは、「あの人」だということである。

あの人に連れて行ってもらうでもいいですか。（同書：251）

このため実際の使用場面においては、許可求め型依頼表現なのか単なる許可求めなのか、曖昧になることがある。

この機械、最近調子が悪いので、点検してもらっていいですか。

この場合、「点検する」という行為の動作主が明示されておらず、聞き手なのか第三者なのか曖昧である。聞き手が動作主であれば許可求め型依頼表現となり、第三者が動作主であれば通常の許可求め表

現である。

学習者に指導する場合には、曖昧になる可能性があることに気づかせることと、曖昧さをなくすために以下のような他の依頼表現の使用を検討させるとよいであろう。

この機械、最近調子が悪いので、点検して {もらえますか/もらえませんか}。

次の例のように、願望を表す表現による依頼表現の場合も、動作主が明示されない場合、第三者による行為を願望する表現である可能性が生まれ、二通りの解釈が生まれる。

この機械、最近調子が悪いので、点検してもらいたいのですが。

許可求め型依頼表現にしても、願望系依頼表現にしても、直接相手に働きかける表現でないことから、押し付けるような印象をなくして相手への配慮を表す婉曲表現として用いられている。しかし、直接相手に働きかけないという特徴が、動作主の曖昧さを生むことにつながるわけである。したがって、相手への配慮を優先するか、曖昧さの排除を優先するかが、どちらの種類の表現を選択するかの基準となると言えるであろう。

以下の例のように「もらう」を謙譲語「いただく」にした場合はどうであろうか。

この機械、最近調子が悪いので、点検していただいてもよろしいですか。

謙譲語は動作が及ぶ相手に対する敬意を表すのであり、上の例では、「点検する」という行為を行う第三者に敬意を表すというのが想定しにくいいため、依頼表現の解釈が優先するであろう。ただし、謙譲語「いただく」を用いた場合に曖昧文の可能性がなくなるわけではない。

(社長に) ご覧いただいてもよろしいでしょうか。

この場合、社長が聞き手であり動作主である場合と、社長が動作主で、社内の他の人物が聞き手である場合の両方の解釈が可能であろう。やはり、曖昧さをなくすためには、以下のような他の依頼表現の使用を検討する必要があるだろう。

この機械、最近調子が悪いので、点検していただけますか。

この機械、最近調子が悪いので、点検していただけないでしょうか。

6. まとめ

現代日本語には様々な依頼表現が存在し、依頼相手や依頼内容等によって使い分けをしている。今回、高田短期大学の学生に対して依頼表現の使用についてアンケート調査を行ったところ、先行研究で指摘される以上に、「～てもらう」を用いた表現への偏りが見られ、その中でも「～てもらってもいいですか」という「許可を求める形」での依頼表現が優勢であることが分かった。

また、そのような「許可求め型依頼表現」を使用する際、相手に対する敬意の度合いがそれほど高くない表現だと感じていることがアンケート調査の結果から分かった。

「許可求め型依頼表現」は形式上、相手に許可を求める表現と連続しているため、解釈が曖昧になることがある。解釈の曖昧さを避けるためには、他の依頼表現の使用を検討するように、日本語表現指導の場面においては指摘するべきであろう。

註

- 1 岡本（1988）は、定型的表現以外にも、依頼を含意する例として、以下のような表現を挙げている。
発生状況の言明：窓しまっているよ（窓を開けてもらう）
相手状況の問い：窓に手が届く？（窓を開けてもらう）
- 2 テ形、オ+命令形による依頼の例として、「暑いから窓を開けて」「窓をお開け」のような文が挙げられている（山田 2013: 231-233）。
- 3 高村（2013）においては尊敬語・謙譲語にするかどうかによる分類はせず、「くれる型」「くださる型」は「くれる型」、「もらう型」「いただく型」は「もらう型」にそれぞれ一本化されている。

引用文献

- 岡本真一郎（1988）「依頼表現の使い分けの規定因」『愛知学院大学文学部紀要』18号，pp.7-14.
- 蒲谷宏（2007）「「丁寧さ」の原理に基づく「許可求め型表現」に関する考察」『国語学研究と資料』30号，国語学研究と資料の会，pp.37-46.
- 金昌男（2000）「日本語母語話者における依頼表現の使用実態について—「～てくれる／くださる」「～てもら／いただく」を中心に—」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』3号，pp.33-43.
- 高村英里奈「依頼表現について—文末表現に焦点を当てて—」『東京女子大学言語文化研究』22号，pp.39-51.
- 文化審議会（2007）「敬語の指針」http://www.bunka.go.jp/bunkashingikai/soukai/pdf/keigo_tousin.pdf
- 山田敏弘（2004）『日本語のベネファクティブ—「てやる」「てくれる」「てもらう」を中心に—』明治書院